

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名 あさひかわ もんべつ 旭川・紋別自動車道 一般国道450号 上川上越道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北海道開発局
起終点 自：北海道 上川郡 上川町 字 菊水 至：北海道 上川郡 上川町 字 上越 国有林	延長 18.0 km	
事業概要 旭川・紋別自動車道は、北海道縦貫自動車道比布ジャンクションから分岐し、紋別市に至る延長約130kmの一般国道の自動車専用道路である。このうち上川上越道路は、上川層雲峡ICから浮島ICに至る延長約18.0kmの区間で、国土・地域ネットワークの構築により、物流の効率化、個性ある地域の形成および円滑なモビリティの確保に寄与する道路である。		
H5年度事業化 全体事業費 (暫定2車線) 911億円 (653億円)		
H一年度都市計画決定 事業進捗率 (暫定2車線) 54% (76%)		
H6年度用地着手 供用済延長 8.3km		
H7年度工事着手		
計画交通量 11,500台/日		
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 2.4 (残事業) 3.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 389/951億円 (事業費：354/892億円) (維持管理費：35/59億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,180/2,247億円 (走行時間短縮便益：1,060/2,033億円) (走行費用減少便益：89/158億円) (交通事故減少便益：31/57億円)
基準年 平成19年		
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=3.2 (交通量 +10%) B/C=2.9 (交通量 -10%) 事業費変動：B/C=2.8 (事業費 +10%) B/C=3.3 (事業費 -10%) 事業期間変動：B/C=3.0 (事業期間+20%) B/C=3.1 (事業期間-20%)		
事業の効果等 ・国土・地域のネットワークの構築（拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成） ・物流効率化の支援（大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上） ・個性ある地域の形成（IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する） 他6項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 道央圏・道北圏・オホーツク圏が高速ネットワークで結ばれ、物流・緊急医療・商圈拡大等で地域の活性化に寄与するとして、紋別市をはじめとする関係2市10町1村の首長等で構成される高規格幹線道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会等より早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・旭川・紋別自動車道のうち、平成18年度末供用済延長は、約65kmとなっている。 ・旭川市の旭山動物園の平成18年の入場者数は300万人を超え、全国第2位となっている。 ・平成17年7月に知床が世界自然遺産に登録された。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成7年度より工事着手して、用地進捗率96%、事業進捗率54%となっている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代前半の暫定2車線供用を予定している。		
施設の構造や工法の変更等 橋梁基礎工における新技術の活用等によりコストの削減を図っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図 		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。